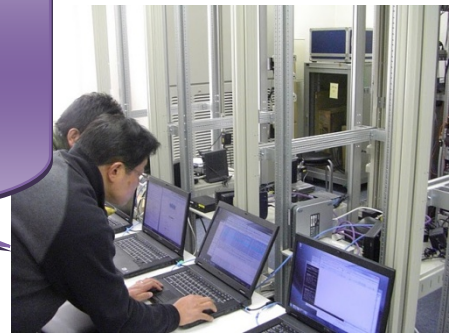


IPv6 の対応、終わっていますか？



## 無償で利用できる IPv6 検証環境オープン！



IPv4 アドレスの枯渇が直前に迫った現在、インターネットがこれまで通りの拡大と発展を遂げていくためには、アドレス枯渇への対応が急務となっています。この枯渇問題への対策として、アドレス空間を大幅に拡張した IPv6 の導入を中心とした複数の案が検討され、その案にそった対応が進んでいます。企業にとって IPv4 アドレスの枯渇問題に対応しないことは、すなわちビジネスチャンスの逸失、既存顧客の流出などの事態を招く可能性

があることを意味します。逆に、IPv6 にいち早く適応することは、新規サービスの創出、ビジネス規模の拡大などのチャンスを得ることになります。

IPv6 普及・高度化推進協議会では、これからこの問題に対処しなければならない状況にある企業、団体の皆様に、新しい技術を導入するための試験を行うテストベッド(検証環境)を無償で提供いたします。この検証環境を利用して、IPv6 対応を中心とした、IPv4 枯渇に向けて導入が必要とされている技術について検証していただけます。テストベッドは、慶應義塾大学新川崎タウンキャンパス及び株式会社ブロードバンドタワー西梅田データセンターにて利用可能です。また、将来的には遠隔接続を利用した検証も受け入れ予定です。なお、テストベッドは、当協議会会員に限らず、どなたでもご利用いただけます。

※本件は、平成 22 年度総務省施策「IPv6 対応に向けたテストベッドによる実証実験に係る請負」の一環として実施しております。

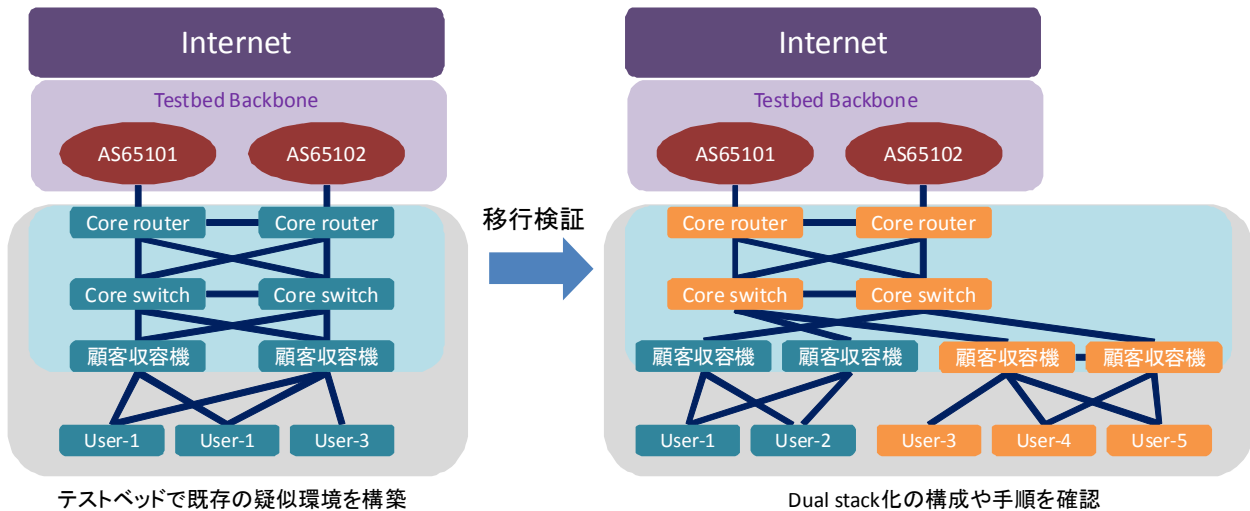
IPv4/IPv6  
Dual Stack  
検証

Large Scale  
NAT  
検証

サーバ  
冗長構成  
IPv6 化  
検証

ユーザ環境  
IPv6 化  
検証

# IPv6 検証環境利用例



## 凡例

- IPv4/IPv6 dual stack node
- IPv4 single stack node

※この例では一部ネットワークへのDual Stackノードの導入を想定していますが、テストベッドでは、IPv6のみの環境や、一部のノードのみDual Stackの環境、全てのノードがDual Stackの環境、Large Scale NATを利用した環境等、様々な検証環境の構築が可能です。

本検証環境では、

- IPv4で構築されたネットワークをIPv4/IPv6 Dual Stackへ移行する際の構成確認や手順検証を通じた移行手法の確認
- ユーザ収容部分やサーバーファーム等で利用されている冗長化プロトコルのDual Stack化の実装確認や移行手順の確認
- 各種ネットワークのインターネット接続部分のDual Stack化の試験

等、様々な試験・検証を行うことができます。また、テストベッド機材を提供いただいている各メーカーのエンジニアやIPv6普及・高度化推進協議会においてIPv6技術について卓越した技術を持つ専門チームが、検証システム設計、コンサルティングおよび検証作業補助などで協力させていただきます。

本検証環境では、これまで家電のIPv6化、セキュリティデバイスのIPv6化、自社ネットワークのIPv4/IPv6デュアルスタック化、アプリケーションのIPv6化等の検証が実施されています。本格的なIPv4アドレスの枯渇の前に、是非IPv6検証環境を利用した事前検証を行うことをお勧めします。

なお、詳細につきましては <http://www.v6pc.jp/jp/entry/wg/2010/05/v4exh-testbed.phtml> をご参照いただければ幸いです。

## 本件に関するお問い合わせ先

IPv6 普及・高度化推進協議会

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-18-14 赤坂 ST ビル 2 階 株式会社イーサイド内

TEL : 03-3585-8161 FAX : 03-3585-8162 E-mail : [v6info@v6pc.jp](mailto:v6info@v6pc.jp)

URL : <http://www.v6pc.jp/>